

1)永続思想 主体性学

特定概念：反社会的

今日、「反社会的」などという概念がしばしば用いられる。中身をよく精査し運用する事にあつて、歪な性質や表現を抑制し良好な言葉と活用のプラス性に働く。簡潔に内容を集約させ、良好な動静を作り健全な感性と観念と精神と身体の相関を遂げる。

情報化社会とプラス性とマイナス性

例えば、情報通信技術の発達は利便性の向上を引き上げ生活の豊かさの一部となり人々の活動をプラスに促進させる。この良い点と共にあまりに容易に意志や情報を広く伝達しよく思慮を重ねて産み出される良好な創造性とは異質の表現に振り回される弊害面も高まる。

動態過剰

部分的対象と良し悪しの判断を安直に表し中期や長期周期の観点を希薄化した即効的な利益追求を増幅させ虫食い的一過性や部分性の高まる創造と破壊性が増す。歪な動態過剰という負の観点を生む。

動態不良

偏狭的な領域化と動態不良を解消させる開放的な自由を広げる利点と共に過剰性による悪しき性格を招く不利益性の観点を生む。歪な専門性や歪な大衆性と言い換えられる。両面を鑑み良好な動静を作る事に根本的な適正と関心が起こる。

法律・学術・宗教

法律による精緻な概念規定も、あまりに複雑化して広く万人に通じる一般性とは異なる基準性を齎せる様子が伺える。一部の領域の間で通じる標準と働き動態不良性が生じる。プラトン、アリストテレス、仏教やキリスト教などという哲学や宗教の専門性もどこか一部領域性の心象が増す。

分化性・専門性・統合性の吟味と真相真価

「細かく精緻なことが良いか。」優れているという基準と評価を進めることに適正があるか。「大雑把で荒く、羅列的、重複的」などという言葉や概念も混乱的な精神性と破壊性を広げる。良好な思想世界観を引き出すことにあつて動態不良や過剰の弊害を解消し健全な動静反応を促進させる。

集約概念

ある程度の質を求め、根源性と根幹性と大局観と総枠観を引き出し変わりづらい長期性の尺度を整え、動態不良と動態過剰の極端な生の歪性に陥らぬ習慣と法則を作る基礎基盤性の概念形成と産出性を生む。

主要な産出性

当該創造力においては「動静概念」「生態概念」という根本的包括性の概念をまとめ示すことに及ぶ。この中で「反社会的・非人間的」という根本性の悪化を識別する観点の形成と過不足の評価性を生む。

対処と予防と根本包括

歪な生の多産性を抑制し、安定と自由と適正な持続を遂げる基準と制御の発想と態度の軌道が作られる。あらゆる技術や力の形成と活用における根本原理に統合される。対処策という性格を有すると共に予防性の施策と働く。根本的包括という性格を有する観点の導出にあつて最良的な生の可能性を引き上げる。

基礎基盤性科目

基礎基盤性の科目という場合は、こうした性質と内容を求め作る事に適正を生むように思われます。多くの人々と共有される基礎の厚みと広がりをもって安定性が増し自由と活力と持続の周期と軌道を実現する。あまりに、基礎と基軸と大局を崩すような専門性や特定性の進行は正よりも負の因果性を増す。

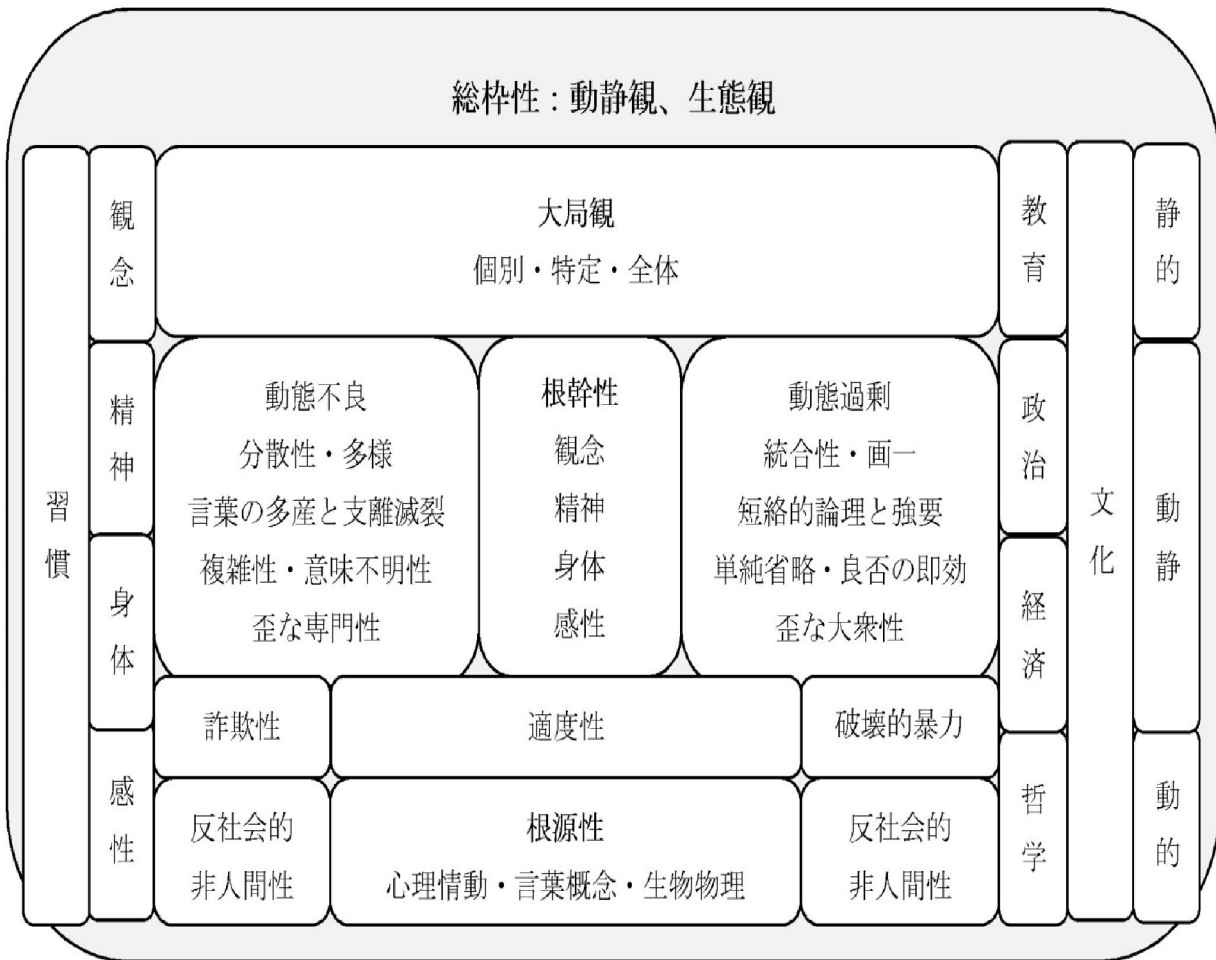
確たる基盤性と大局観を求め、長らく良好な「自立と協業、自律と協調、維持と変化」の世界を存続する。良好な人間性と創造性と社会性と自然観と生態系を叶える。

教育金融・政治行政・産業経済と哲学文化

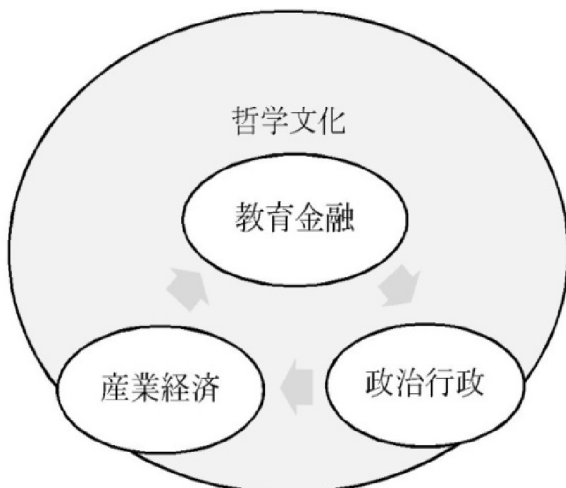
学術的な成果と恩恵を賜りながら、実生活と習慣性を得て、観念と身体と感性を通し反省と改善の蓄積し、質実の良い産出性と集約性を生むように思われます。堂々と良好な根源性を求め根幹性を築き大局観に広げる公私性を生む。

永続思想 主体性学

どのような集約に良好な価値観と実現を見るか。こうした観点と関心の集まる領域性が生活の基礎と習慣に組みこまれた国家や領域、空間に哲学文化や伝統文化性を生み良好な生命が宿り永続軌道に向かう。



真なる調和への道 七色の虹の架け橋



3つの観点と相関の周期

- ・ 静態、動態、動静

4つの主要な要素と周期

- ・ 教育金融、政治行政、産業経済、哲学文化

文化観

文化とは人間と生態の長期的法則と解される。「相撲や歌舞伎」「言葉や概念」という特定領域を直接示す概念というよりも、感性と観念と精神と身体の相関と習慣という根本性と、万人万物を対象にした大局観を作る概念に働く。

病理現象、無形性と有茎性、

情報技術や電波を悪用し、精神や聴覚に障害と攻撃を加える現象に対面する。病理的な人間性を作らぬように良好な文化を促進させる創造が存続する。サイバー犯罪に留まらず電波で聴覚障害を加える病理を放置するとインフラの基本的役割を欠く。各国首脳と政治性は歪性を取り締まる実行力を高め、義務を果たすことが求められる。思想世界観というソフト性と軍事性というハード面を含み、健全と持続を実現する。根の歪性によるソフトとハードに外れることのなき文化と普遍的不変の同一性が進む。